

大分県支部

地域におけるネットショッピングの展開方策に関する調査研究

インターネットが情報通信基盤として定着するにつれ、ネットショッピング（消費者向け電子商取引）市場が、大きく伸びてきている。

本調査は、地域におけるネットショッピングの展開方策に関する調査研究と題して、大分県内のネットサイトの開設状況、一般消費者の動向等を参考にしながら、地域におけるネットショッピングの展開方策を探ることを目的としたものである。

インターネットは世界規模のオープンなネットワークであり、情報通信環境さえ整っていれば、中央、地方といった区別はない。ネットショッピングを展開する場合でも、サイトをどこに開設しようとする地域や距離による通信上の格差は生じない。大分県内のショッピングサイトでも売上げの増・受注の拡大に結びついている例が報告されている。一般家庭でも、さまざまなものがネット購入されている。国の「e-japan 戦略」により、情報通信環境の整備が急速に進むなか、インターネットの利用環境はますます快適になり、ネットショッピング市場の拡大も期待される。経営環境の変化のなかであって、地域での展開や既存市場での拡大が行き詰っている業種、業態でも、ネット上の新たな切り口で成功することも考えられる。しかしながら、今回の調査対象企業にも見受けられたが、開設企業のなかには、「アクセス増、集客対策」「サイトの効果が見えにくい」「担当者の育成・確保」「コンテンツ制作ノウハウの不足」「セキュリティ対策への対応」といった問題点・課題を抱えている企業も多い。

また、ネットショッピングの市場規模が拡大傾向にあるなかで、多くの成功事例がマスコミ等の注目を集めている一方、撤退するサイトも跡をたたない。ネット上に放置されたままのサイトも目立つ。地面の上でもネット上でもビジネスを成功させるポイントは同じである。自社の経営資源を把握し、対象市場を分析し、目標を定めて、確実に実行していくことが大切である。